

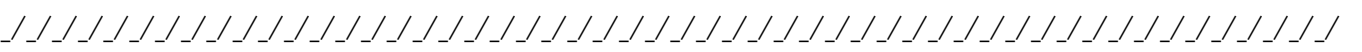
2006/5/11

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第 17 号



○ INDEX



\* TOPICS

「石綿による健康被害の救済に関する法律」

- ・労災補償等による救済の対象とならない者に対する救済給付
- ・労災補償を受けずに死亡した労働者の遺族に対する救済措置

\* 今月の Key Word【医師(産業医など)による面接指導制度の創設】

\* 労働衛生事例

…特定化学物質による中毒等

\* 新着情報

…新着雑誌のご案内

\* 研修・セミナーのご案内(5月・6月)

○ TOPICS

■「石綿による健康被害の救済に関する法律」

- ・労災補償等による救済の対象とならない者に対する救済給付
- ・労災補償を受けずに死亡した労働者の遺族に対する救済措置

[参照]石綿による健康被害の救済に関する法律の概要(図説)

<http://www.env.go.jp/air/asbestos/pdfs/h180213.pdf> (PDF 版)

<http://www.env.go.jp/air/asbestos/h180213.html> (HTML 版)

<http://www.env.go.jp/region>(地方環境事務所)

<http://www.mhlw.go.jp>(厚生労働省)

○ 今月の Key Word【医師(産業医など)による面接指導制度の創設】

過重労働による健康障害(過労死等)を予防するため、厚生労働省は平成 14 年 2 月、「過重労働による健康障害防止のための総合対策」

(平成 14 年 2 月 12 日基発第0212001号)を策定し、その中で、事業者が講ずべき措置として、時間外労働の削減や、健康診断とその事後措置の適切な実施、月 45 時間を超える時間外労働を行った労働者について産業医等の助言指導を受けることなどを示しています。

今回の法(安衛法)改正では、この通達の内容を踏まえながら、一定の長時間労働者などについて医師(産業医など)による面接指導を実施することを法律上事業者に義務付けることが明記され、過重労働による健康障害防止・メンタルヘルス対策が強化されました。これにより、脳・心臓疾患やうつ病などの早期発見につながり、比較的早い段階での対処も可能になることが期待されます。

安衛法第 66 条の8第1項

「改正一括法でここが変わった！法律編」(社団法人 全国労働基準関係団体連合会)

(参考)省令、通達

労働安全衛生規則等の一部を改正する省令(平成 18 年厚生労働省令第 1 号)

基発第0224003号 平成 18 年 2 月 24 日

法改正に係る関係法令、関連指針、関連通達

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/roudou/an-eihou/index.html>

---

○ 労働衛生事例

---

労働衛生事例(2例—平成16年—)

《事例 1》特定化学物質による中毒等

・塩素による中毒

【業種(労働者数)】

旅館業(32名)

【発生月】

5月

【被災者数】

中毒4名

【発生状況】

事業場内の小浴場において、塩酸含有の洗剤を使用して浴槽の清掃作業を行っていた際、桶に入れていた洗剤をこぼしたため、再び洗剤を足そうとして誤って次亜塩素酸ナトリウム含有の殺菌剤(レジオネラ菌消毒用)を入れてしまいこれをブラシに浸して浴槽をこすったところ、既に浴槽内に付着していた洗剤と殺菌剤が混ざり塩素ガスが発生し、これを吸入して中毒となったもの。

【発生原因等】

- ・容器の表示の不備
- ・換気不十分
- ・作業手順未策定
- ・安全衛生教育未実施
- ・特定化学物質等作業主任者未選任

---

《事例 2》有機溶剤による中毒等

・トルエン等による中毒

【業種(労働者数)】

窯業土石製品製造業(19名)

【発生月】

5月

【被災者数】

中毒1名

【発生状況】

11トンミキサー車のドラム内部に付着しているコンクリートのはつり作業を終えた後、当該作業開始前に班長からドラム内での塗装作業を行わないよう指示されていたにもかかわらず、刷毛を用いて、ドラム内部のドラムと羽部が溶接されている箇所の塗装作業を行い、外に出ようとしたところ、急性有機溶剤中毒になり、ドラム内に倒れていたところを発見されたもの。

【発生原因等】

- ・作業指示の不徹底
- ・換気不十分
- ・不適切な呼吸用保護具の使用

---

○ 新着情報

---

☆ 新着雑誌 & パンフレット ☆

- 安全と健康／5月号 特集◎アーク溶接作業の安全衛生
- 安全衛生のひろば／5月号 特集◎こうして進めるオフィスの快適化
- へるすあっぷ21／No.259 特集◎医療制度改革とこれからの生活習慣病対策
- 労働者の心の健康の保持増進のための指針（パンフレット 厚生労働省）

---

○ 研修・セミナーのご案内(5月・6月)

---

★衛生管理者等研修

会場：産業保健推進センター会議室

時間：14:00～16:00

---

▽5月16日(火)

メンタルヘルス～職場における心の健康づくり 一事例をまじえてー 影山 隆之(特別相談員)

▽5月30日(火)

メンタルヘルス事例研究ー職場復帰ー 寺尾 岳(特別相談員)

▼6月1日(木)

熱中症の予防対策 細川 隆文(基幹相談員)

▼6月22日(木)

労働衛生保護具の管理の方法

ーフィットテストを用いた呼吸用保護具の着用管理を中心にー 田口 信康(基幹相談員)

---

★産業医研修

時間:18:30~20:30

---

▽5月29日(月)

職場におけるメンタルヘルスづくり 影山 隆之(特別相談員)

会場:大分県医師会館

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▼6月16日(金)

日常の産業医活動における危険予知のすすめ方 青野 裕士(基幹相談員)

会場:大分産業保健推進センター

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▼6月28日(水)

職場における高血圧対策 木下 昭生(基幹相談員)

会場:大分産業保健推進センター

☆基礎/後期2 生涯/専門2

---

★カウンセリング研修

会場:産業保健推進センター会議室

時間:18:30~20:30

---

▼6月13日(火)

積極的傾聴 –グループワーク– 佐用 槇子(基幹相談員)

---

★産業看護職等研修

会場:産業保健推進センター会議室

時間:14:00~16:00

---

5月19日(金)

リスクアセスメントからシステム構築へのプロシードプロシーディングモデルの応用

青野 裕士(基幹相談員)

---

★産業保健セミナー

会場:大分県医師会館

時間:14:00~16:00

---

6月30日(金)

重大事故災害を未然に防ぐために–リスクアセスメントをベースとした OSHMS の構築–

青野 裕士(基幹相談員)・古庄 義彦(基幹相談員)

